

今工会報

第 4 0 号

発行所

今 工 会 事 務 局

☎557-0024

大阪市西成区出城1-1-6

大阪府立今宮工科高校内

電話 06 (6631) 0055~7番

編集発行人 吉田 信 夫



今工会会員の皆さん、益々ご健勝にてご活躍のこととお喜び申し上げます。

昨年は、母校創立100周年の記念式典を、府立国際会議場で、祝賀会をリーガ・ロイヤルホテルで盛大に開催させていただきました。

おかげさまで、今工会をはじめ母校を愛する関係者の皆さんの暖かいご支援・ご協力により大成功裏に終えることができました。

記念事業としての校歌碑の設置は、平成26年度の卒業式当日、学校校門正面でテープカットを行い皆さんに披露致しました。校歌碑の母体の石材は、久来石(くぐるいし)、歌詞の石材は黒御影石を採用しました。

校歌の書写は、本校昭和30年の卒業生で、篆刻で関西最初の「現代の名工」にも選ばれた澤村宗一氏の書です。

歴史を刻み、一層の発展を見守る、校舎の正面壁には90周年記念として教職員の協力で作られた「校章」が燦然と輝き、この度、校舎正面には「校歌碑」がどっしりと設置されました。今工会員の皆さん是非ご覧ください。

100年を節目に、会員の皆さまのこれまで以上の母校と今工会へのご厚情お願い申し上げます。いろいろご協力ありがとうございました。

今工会会長 峯山 昭 範

2015年 今工会総会 ご案内

10月25日(日) 11時開会

10時30分受付

場所：「敦煌」道頓堀本店

会費：5000円

同封の返信はがきで

10月10日までにご返事お願い致します。



ご挨拶

山崎 晃昭 学校長

今工会会員の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

平素は本校教育の充実・発展に格別のご理解ご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

私は、平成26年4月1日付けで着任いたしました。折しも、着任した年が本校創立百周年の記念すべき年であり、その歴史と伝統の重さに身の引き締まる思いでありました。校長としての重責を痛感しつつ、微力ではございますが、生徒・教職員と一丸となって本校の伝統文化の継承・発展に努力してまいりたいと存じますので、どうぞよろしく願いいたします。

本校は、平成26年、創立百周年の記念すべき年を迎えましたが、この間、卒業生は3万4千人を超え、わが国の産業発展を支え、本校が世に高い評価を得ておりますのも、卒業生の皆様のご支援ご厚情の賜物と衷心より感謝申し上げます。

そして、今工会峯山会長に百周年実行委員会会長になっていただき、今工会をはじめ多くの皆様のご支援ご協力により、平成26年11月3日盛大な記念式典・祝賀会を挙行できましたことは、たいへん意義深く、この上ない喜びとするところであります。

また、百周年記念事業として実施いただきました創立百周年記念誌の発行や校歌碑の設置、学習支援基金の創設等につきましても、深く感謝申し上げます。

本校は、「『夢創造』の教育力と確かな進路実現力を持つリーディング工科高校」として、将来の産業界を担うエキスパートの育成に取り組んでいます。「夢」の実現に向けて、生徒たちは授業に、クラブ活動に、また、生徒自治会活動にと積極的に高校生活を送っています。お陰様で、今工生は就職・進学ともに希望者は全員、進路を決定し、卒業しています。また、本校は、各種資格の取得にも積極的に取り組み、技能士や電気工事士などの国家資格にも毎年多くの合格者を出しています。



100周年記念式で挨拶される山崎学校長

そして、機械・電気・建築・グラフィックデザインの4つの専門系に加え、大阪府教育委員会から高大連携重点型工科高校の指定を受け、平成26年4月より工学系大学進学専科を開設したところです。

これからも、今工生が誇りと自覚を持ち、自らの可能性を信じ、将来を積極的に切り開いていくことができるよう、日々精進してまいる所存です。今後とも本校へのご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

最後になりましたが、会員の皆様のご健勝ご活躍、今工会のますますのご発展を祈念しまして、ご挨拶とさせていただきます。

100周年記念式典での文化行事・芸術鑑賞
センチュリー交響楽団演奏



生徒二人が指揮者体験。プラスバンド部9名が交響楽団に入って一緒に演奏。校歌も演奏と盛りだくさんの企画でした。



今工会平成26年度会計報告

一般会計

収入の部

前年度繰越	24,528,888	
会費収入	2,366,000	全日制¥2024000(8000×253名) 定時制¥342000(8000×35名,4000×8名 6000×5名,計48名)
銀行利息	4,141	
雑収入	29,888	学級費・事務・各種同窓会寄付、記念誌代等
合計	26,928,917	

支出の部

庶務費	総会・幹事会費	56,600	
	卒業生記念品等	214,500	卒業証書ホルダー
	庶務部費	20,120	
編集費	会報発送諸費	1,798,612	会報39号郵送費等
	会報発行諸費(会報代含)	120,528	会報39号印刷費等
	編集部費	47,214	編集諸費
事業費	クラス会補助費	40,324	
	広報関係費	7,992	
	事業部費	519,427	ホームページ委託料等
会計費		0	
事務費	事務局費	406,635	資料室整備費、事務局諸費
	企画室費	73,272	資料室展示資料作成費等
	調査・通信・交通費	72,485	
予備費		0	
合計		3,377,709	

差引残高 23,551,208 平成27年度へ繰越

部活動振興会援助基金

収入の部

前年度繰越金	1,790,636
銀行利息	1,084
計	1,791,720

支出の部

税金	217
----	-----

差引残額 1,791,503

平成27年度へ繰越

100周年記念事業基金

収入の部

前年度繰越金	679,159
募金	20,206,681
学校からの返金	486,979
利息	496
計	21,373,315

支出の部

実行委への支出	18,500,000
---------	------------

差引残額 2,873,315

記念事業基金として

平成27年度へ繰越

今宮工科高校創立100周年実行委員会決算書

収入の部

今工会援助	18,500,000	卒業生からの寄附等
P T A援助	6,000,000	P T A周年事業積立金
振興会援助	500,000	振興会周年事業積立金
雑収入	2,243,941	今工教職員・P T A参加者当日会費、芸術鑑賞(生徒負担)、利息
合計	27,243,941	

支出の部

式典関係	3,959,747	メインホール、控室等賃借舞台装置、吊看板等、センチュリー楽団
祝賀会関係	6,268,460	懇親会費用
記念誌関係	7,128,000	記念誌印刷・送料
記念品関係	2,700,185	記念品一式(今工100年のあゆみ・校歌のCD等)
記念事業関係	寄附事業	記念碑、LED外灯、デジタル時計一式
	基金事業	学習支援基金
事務費関係	1,180,262	印刷経費、消耗品、荷物運搬等経費
郵便手数料	540	今工会100周年会計へ返金(手数料¥540含)
合計	26,756,962	

差引残高 486,979 今工会に返金

今工卒の僕ら63年間の歩み

同窓会・同人誌「乾(けん)薫(くん)の記」

建築科昭和28年卒業 二八会

[卒業]

昭和28年3月私達43名は、乾担任の薫陶を胸に、建築科を巣立った。

[過酷な建設現場]

昼夜突貫工事、1年360日出勤、転落死寸前、「地獄や」と言う仲間。でも、今工魂・乾先生の力で頑張りを抜ぬけた。

[頼りは乾亮三先生]

夜来香



卒業後も先生には実にお世話になった。再就職の斡旋をしてもらった者達。構造計算の指導を受けに通った人ら。進学相談や結婚相談(仲人)も頼んだ奴ら。

乾先生はやさしかった。先生から戴いた夜来香(いえらいしゃん)の花、今も各人の庭の鉢に咲き、薫る。

[先生囲んでの同窓会]

同窓会は、先生への報告、先生からの励まし、同時に同窓生相互の支え合いという感じで、卒業後3~4年に1回はやっていた。写真は平成8年の伊勢1泊同窓会(17名参加)の時のものです。(前列中央が乾先

「乾薫の記」から

この寄稿を中心に担当していただいた横田斉氏は、中学校の教師になられ、「100周年祝賀会の司会・桂南光氏は教え子、今工進学を勧めた。『縁の不思議』と」Ⅶ号で書かれています。

○当時は、まだ敗戦後が色濃く残り、学校の周りも列車から投げ出される買い出しの食品、行き倒れ、路上とばく、色街姐ちゃんの引っ張り込み・・・

○「あの時代」阿部野橋からの通学路で、行き倒れ



生) 私達の乾先生は、勲四等瑞宝章、従四位というすごい人物です。私達への指導はきめ細かく具体的で厳しかったです。

[乾先生逝かれる]

平成20年に88歳でご逝去されました。墓地は生駒山の真東に有ります。



叙勲の時の乾先生

[同人誌「乾薫の記」発行へ]追悼誌「乾(けん)薫(くん)の記」を同窓会で創りました。以後、毎年1回、同窓会時に発行。執筆者は18~13名。表紙は大阪の建物シリーズ。今年でⅦ号になりました。僕ら今工生、60余年の歩みの記録誌ですが、各人の個人史的側面もあります。

[今工二八会アップレ!]

自画自賛。80歳超の十数名が、今も集まり、同人誌をつくり、良き生き方を刺激し合っています。今回、今工会報に記載して戴き感謝感激。今後の頑張る力を戴きました。



の人をまたいで行くこともあった。

○建築の授業はどれも厳しかった。「先生方も個性派ぞろいだった」

○あの頃は新世界(ジャンジャン街)の最盛期の時代、若い「ねえさん」に呼びとめられたことも。

○新校舎に入れば、あの匂い、臭かったなー。

○校舎の前の掘立小屋の「うどん」、ねえちゃんが運んでくれる「うどん」おいしかったなー。

○学校へ真面目に行くが、真面目に帰ったという思いはない。三タクに無理に5人が乗り、1メータ50円を割り勘でミナミへ、何をしていたのでしょわか??

献身的な友の協力で 卒業できた時の感激は今も

昭和37年建築科卒業 和田譽志雄

私の人生は、今工に入学した事により大きく変化したと言っても過言ではありません。

私の生家は、代々左官職を生業とし、兄の代で四代目となります。父は私も跡継ぎに臨んでいたようですが、叔父は私に進学を勧め、父を説得した結果父も叔父の意見に賛同しました。私は、中学の教諭の勧めで今工建築科を目標に受験勉強を始めました。結果は幸運にも合格し、無事合格できました。

時に昭和34年の春でした。在学中の楽しい思い出は、九州方面への修学旅行でした。大阪駅から夕方に出発し、翌早朝熊本駅に到着、九州に第一歩を印しました。美人ガイド嬢の案内で一同ご満悦でした。

反面、私にとってつらい思い出は、三年生の夏休み教育実習として工事現場で様々な実務を体験しましたが、現場で誤って作業中にセメントを頭から被り、運悪く粉が右眼に入り角膜炎を発症、失明寸前の状態になり、長期間治療に時間を取られ、修得単

位不足に陥った事でした。

しかし、そんな時仲の良い友人達の献身的な協力のお蔭で窮地を脱することができました。その時の感激は言葉にできません。卒業後も幾度となく同窓会をし、お互いに旧交を温め合い、懐かしい思い出に花を咲かせ楽しい一時を過ごせるのも卒業できたお蔭です。ただ、担任の穂積先生が早々他界させれ、先生が不在だと何か物足りなさを感じるのは私だけではないようです。

昨年、今工百周年記念行事に出席して、大変感銘を受けました。開催に向けて努力された関係者の皆さまに感謝申し上げます。今後も今工卒業生として微力ながら協力してまいりたいと思います。



前列
左から
2番目
が私

今工会に寄せて 思えば遠くに来たものだ

昭和41年電気科卒業 岡田太郎

今工を卒業して早49年。大阪を離れて42年が経ち今は千葉に居ます。何年も会報を受け取っているながらご無沙汰をしていましたが、さすがに100周年の記念式典が開かれることを知って、ひょっとしたら当時の同期生に会えるかも、元気な内に行ける時に行っておこうと出かけることにしました。

会場の中之島界限は様変わりしていて浦島太郎の気分になりました。多数の参加者が受付に並んでいましたがシニアが目立ち学生以外の若い人たちは少ないように感じました。会場が広いので旧友と携帯

で連絡を取って出会いましたが49年ぶりでも面影は少し残っていて握手して再会を喜び合いました。二人で祝賀会の会場を歩き回り、同期生や恩師を探したのですが見つけることは出来ず少々がっかりしました。

式の翌日、式に参加しなかった3名と岡山へ旅行したので、恩師の藤井先生に手紙で旅行の写真と記念式典の様子を報告したのですが、返事を頂いてびっくり。私のことを覚えて下さっていたことも嬉しかったのですが、式には先生も参加されていたそうで、どうしてお会いできなかったのかと悔やまれてなりません。旅行した3名と次は古希を祝って再会しようとして別れたのですが、先生のお手紙に「古希といわず来年(今年)クラス会開催も一興と思います」と書かれておられたので、これはちゃんと企画しなさいというご指示と受け止め、秋ごろに何かしらをやろうと思案しています。

この原稿を書きながら、何人と会えるだろう、皆はどんな人生を歩んできたのだろう、今この時何をしているのかしら、今工100周年をきっかけに久しぶりに当時の彼らのことを、そして若かった自分のことを思い返しています。



田中 柴田 岡田
2014/11/04 17:35



峯山昭範会長・挨拶



鏡開き



S35 定時制建築卒
新井正準氏



祝賀会の司会は
桂南光さん (S45 機械科
卒・森本良造氏)

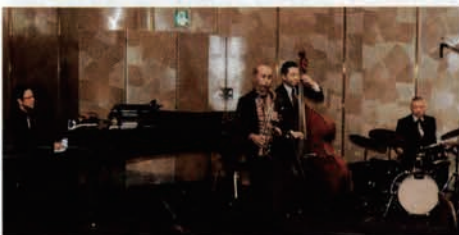
南光さんにはアシスタ
ント、和太鼓、ジャズ演
奏などのお世話をしてい
ただきました。



S18 高電機科卒 笠井 保 氏



S35 電気科卒業 中西 明 氏



「100周年記念誌」必要な方
郵送料込で3000円です。連絡いた
だければ振込用紙入れ郵送します。